

9月27日：投資家は慎重な姿勢を強め、VN指数は続落

大引けにかけて売りが強まり、ホーチミン市場のVN指数は1.94%（26ポイント）安の1,324.99ポイントで取引を終えた。

騰落別では377銘柄が下落、47銘柄が上昇、42銘柄は変わらずだった。

VN30指数の採用銘柄のうち、24銘柄が下落、2銘柄のみ上昇、4銘柄は変わらずだった。マサングループ（MSN）は採用銘柄の中で最も下げ、5%を超える下落となった。ビンホームズ（VHM）、ビンググループ（VIC）、ベトコムバンク（VCB）はそれに続き、それぞれ1%を超える下げとなった。

vietstock.vnによると、セクター別では全25業種のうち24業種が下落した。

そのうち金融、保険、証券の業種別指数は平均して5%下落し、農業、鉱業、小売、ゴム製品、プラスチック化学製品は3~4.2%下げた。

物流・輸送セクターの業種別指数は+0.5%とセクター別で唯一上昇した。ベトジェットエア（VJC）が3%を超える上昇となったことも追い風となった。

出来高は改善し、売買高は前日比16%増の7億7,800万株以上、売買代金は前日比19%増の21兆8,000億ドン（9億4,800万米ドル）となった。

「1日当たり出来高は2週連続で平均して20兆ドン台と控えめであり、これは直近、投資家がマーケットに対して慎重な姿勢を取っていることを表している」（MB証券のアナリスト）

「世界のマーケットがボラタイルな値動きを見せる中、ベトナム市場は直近3週間、ほぼ横ばいで推移している。VN指数は今後1,327~1,360ポイント付近で推移していくだろうと考えられる」（同証券会社のレポート）

ハノイ市場のHNX指数は3日連続で下落している。昨日の終値は1.84%安の353.01ポイントだった。

出来高は増え、売買高は約1億5,600万ドン、売買代金は3兆1,000億ドンで共に先週末の水準から8%増加した。

多くのアナリストが言うに、ベトナム政府は今年に入ってからマクロ経済の安定を図る

政策を発表しているにも関わらず、買い材料が不足しているため、投資家はマーケットに対して慎重な姿勢を保ったままだ。

FiinGroup の最新データによれば、証券会社にある投資家の現金残高は 8 月末時点で 90 兆ドン（39 億ドン）に達した。現在は待機資金として次の投資機会を探っているところだ。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。